

ご自由にお持ちください

2025年

February

2

月号

Topics

増加する“直美”たち
形成外科vs美容外科、その分岐点

形成外科 講師 冨塚 陽介

Event

第53回市民公開講座開催のお知らせ

Contents

- **Topics** 増加する“直美”たち：形成外科vs美容外科、その分岐点
チーム医療で支える口唇口蓋裂治療：包括的アプローチ
- **Event** 第53回市民公開講座開催のお知らせ
がん患者・家族サロン開催のお知らせ
- **Report** 患者さんからのご意見・ご要望



昭和大学
藤が丘病院



昭和大学
藤が丘リハビリテーション病院



増加する“直美”たち：形成外科vs美容外科、その分岐点

形成外科 講師：冨塚 陽介

最近、直接美容外科の道へ進む医師（通称「直美」）が増加しており、その傾向は医療業界全体で注目されています。年間の新規就業者数は着実に増加し、他科で専門医資格を取得した後に、美容外科へキャリアチェンジを図る医師も少なくありません。この流れは、自由診療としての美容外科が経済的、ライフワークバランスの面で魅力的であることや、SNSを活用した自己ブランディングの可能性が拡大していることに起因しています。一方で、形成外科と美容外科の違いについての理解が不十分なままキャリアを選択するケースも見られ、医療従事者や患者の間で混乱を招く場面もあります。両者の本質的な違いを明確化し、医師や医療従事者として、患者として美容外科に関わる際に役立つ情報を提供します。少し細かいですが内容は難しくありませんので、ご興味がある方は、ぜひご一読いただければ幸いです。

	形成外科	美容外科
医療の目的	医療として、失われた機能や形態の回復を目指す。事故や外傷、先天性異常、腫瘍切除後の再建などが主な対象です。患者の生活の質（QOL）の向上が中心です。例として、手指の切断再接着や乳癌手術後の乳房再建が挙げられます。	健康な人を対象に、外見の改善を目的とします。患者が抱える美的な悩みやコンプレックスを解消し、自信を持つサポートをする分野です。例として、二重まぶた手術や隆鼻術などが行われます。
主な対象	外傷（顔面骨骨折、熱傷）、先天性異常（口唇口蓋裂、多指症）、腫瘍切除後の再建（皮膚癌や乳癌）などが対象です。疾患や障害による機能的問題の解決を重視します。	審美的な要望が中心で、健康な体に対して見た目の向上を図ります。例えば、顔のシワ取りや脂肪吸引、豊胸手術が対象です。
保険適用	疾患や外傷による治療は健康保険の適用範囲内です。熱傷や口唇口蓋裂の修復手術、乳房再建などが保険でカバーされます。	原則自由診療であり、保険適用はありません。患者が全額自己負担で支払うため、費用が高額になる傾向があります。
医療法上の位置づけ	大学病院や総合病院の専門科目として設置されており、医療法に基づく診療科です。	診療所やクリニックが提供する自由診療分野です。医療法上は「診療科名」として認められているものの、商業的な色合いが強い場合があります。
主な手術	形態と機能を再建することが目的です。例えば、顔面骨骨折では骨の形を整えるだけでなく、咀嚼や視覚機能の回復を図ります。顔面再建手術、皮膚腫瘍切除後の皮弁移植、乳房再建、外傷修復、瘢痕形成術など。	美的要素の向上が目的であり、機能的な変化はあまり求められません。患者の主観的満足度が治療成功の指標となります。二重まぶた形成、隆鼻術、豊胸術、脂肪吸引、フェイスリフトなど。
学術的な基盤	エビデンスに基づいた治療が重視され、学会や研究活動が活発です。日本形成外科学会が学術活動の中心となり、専門医育成や教育プログラムを整えています。	個々のクリニックや医師の技術が中心で、学術基盤は形成外科に比べて薄い部分があります。ただし、近年は学会活動や技術研究も進んでいます。
治療の緊急性	外傷や急性疾患など、緊急手術が求められる場合もあります。例：指の切断再接着術。	緊急性のある治療はほとんどなく、計画的に手術が行われます。
患者層	新生児（口唇口蓋裂）から高齢者（褥瘡治療）まで幅広い層が対象です。	主に10代後半から50代の女性が中心ですが、最近は男性や中高年層の需要も増えています。

	形成外科	美容外科
社会的認知	医療の一分野として広く認知されていますが、実際の診療内容や治療範囲が広いため一般にあまり知られていないことが課題です。	広告やメディアを通じて広く認知されていますが、「医療」というよりも「サービス」としてのイメージが強い場合があります。
リスク管理	リスクを回避するために治療計画が慎重に組まれる。学会や病院が管理するため、リスク管理が徹底されています。	各クリニックの管理能力に依存する部分が多く、トラブルも一定数存在します。
責任の所在	医療事故や合併症については医療機関が責任を負います。	自由診療でのトラブルは患者とクリニックの間で解決されます。
治療の費用	保険適用のため、患者の負担は比較的小さいです。	自由診療であるため、クリニックごとに料金が異なり、高額な費用がかかることが一般的です。
医師の研修プロセス	大学病院や専門研修施設での体系的な訓練が必要です。	個別クリニックで短期間のトレーニングのみの場合もあります。
治療の技術	再建手術や機能回復、審美性に特化した技術。	審美性を重視した技術。
手術後のケア	術後のリハビリや定期的なフォローアップが重要で、長期間の治療計画が必要です。	多くの場合、一度の治療で完結しますが、必要に応じて修正手術やメンテナンスが行われます。
倫理的課題	医療行為として倫理的基準が厳密に守られています。	商業的な要素が強く、過度な広告やリスク説明不足が問題になることがあります。
医療トラブル	医療法や学術基準に基づいて対応されるため、トラブルが比較的小さいです。	自由診療の特性上、患者とのトラブルが発生する場合があります。
成果の評価	機能回復と患者満足度の両方が評価基準。	審美的な満足度が主要な評価基準。



Topics

チーム医療で支える口唇口蓋裂治療：包括的アプローチ

形成外科 講師：冨塚 陽介

当院は、口唇口蓋裂の手術件数において日本有数の実績を誇り、昭和大学歯科病院との連携のもと、高度な医療を提供しております。口唇口蓋裂の治療は、形成外科、小児科、耳鼻科、歯科、言語聴覚士、栄養士など、多岐にわたる専門分野が連携して行う、非常に複雑かつ繊細な治療です。

多職種が連携し、チーム医療を実践することで、患者さん一人ひとりに最適な治療計画を立案し、高い治療効果を実現しております。患者さんの年齢や症状によって治療計画は異なりますが、一般的な治療の流れや各段階での注意点について解説します。

出生直後から乳児期

• 哺乳指導

口唇口蓋裂のある赤ちゃんは、哺乳が困難な場合が多いです。専門の歯科医や言語聴覚士による哺乳指導を行い、適切な哺乳方法を指導します。

• 術前矯正

口唇形成術や口蓋形成術に備え、顎の形態を整えるための術前矯正を行うことがあります。

• 口唇形成術（図1参照）

通常、生後3～6ヶ月頃に行われます。患者の顔貌と機能回復に重要な役割を果たします。手術には、裂けた部分を適切に整復し、筋肉や皮膚をきれいに縫合する技術が求められます。術後の傷跡の管理も重要です。

• 口蓋形成術（図2参照）

生後12～18ヶ月頃に行われます。裂けた口蓋を閉じ、歯列や言語機能の正常な発達を促すことが目的です。早期に行うことで、言語発達に与える影響を最小限に抑えることができます。

図1

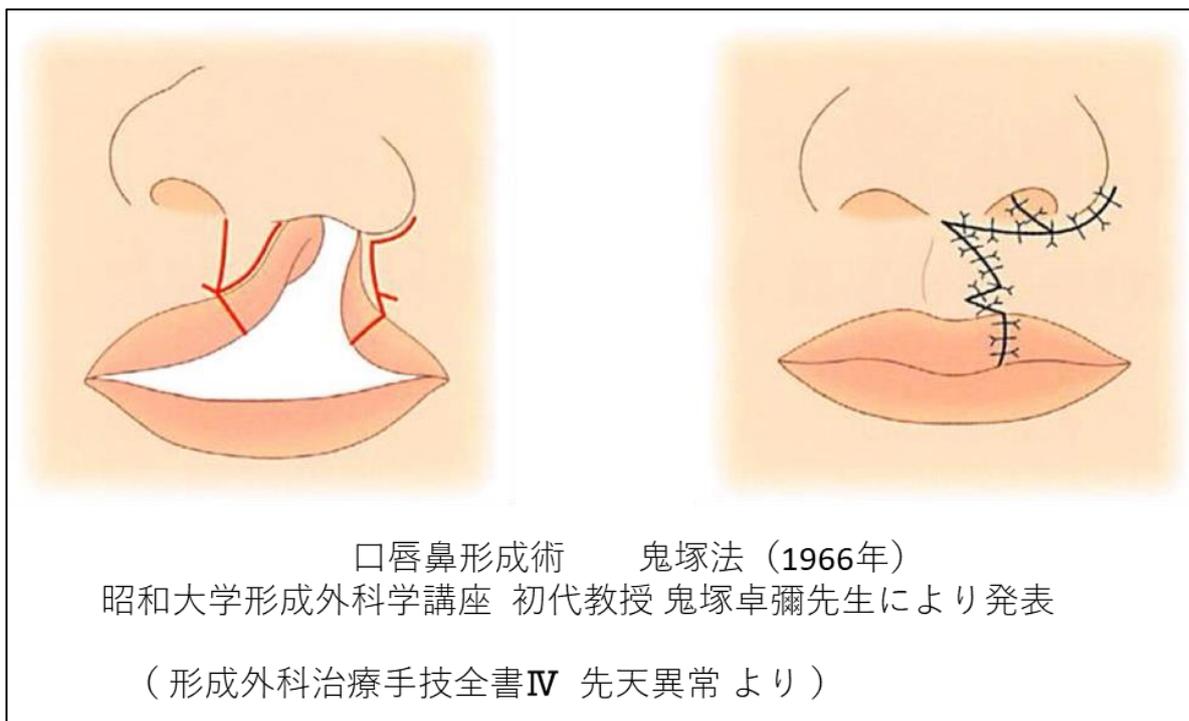
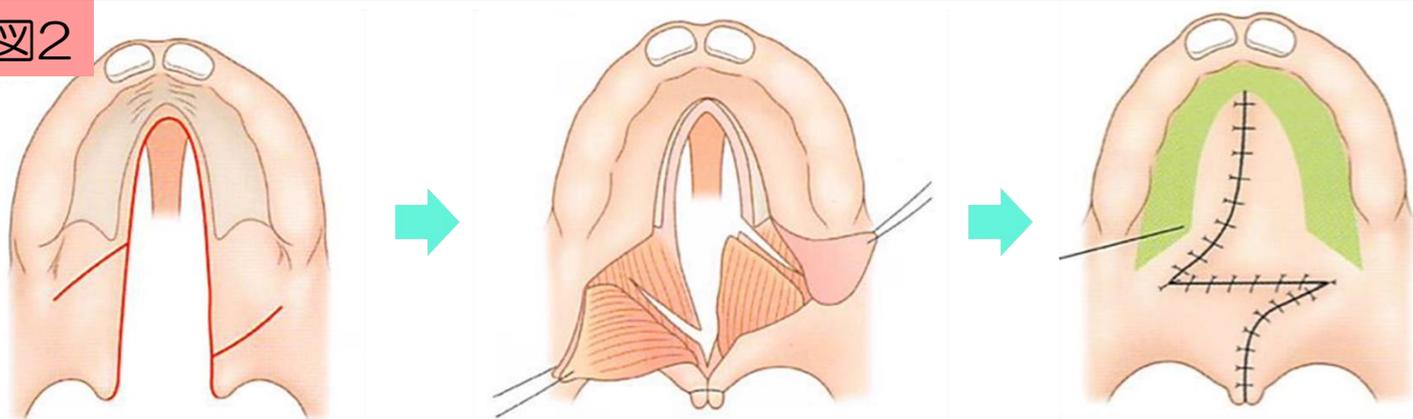


図2



口蓋形成術（Furlow法）

（形成外科治療手技全書Ⅳ 先天異常 より）

学童期

- **顎裂部骨移植術**
永久歯が生え変わる時期（7～10歳頃）に、顎の骨がない部分に骨を移植し、歯並びを改善するための準備を行います。
- **歯科矯正治療**
歯並びの不正を矯正し、咀嚼機能の改善を目指します。
- **言語療法**
口蓋裂が言語発達に与える影響を最小限に抑えます。手術後の言語訓練は、発音や構音の発達をサポートします。

思春期以降

- **二次的な変形に対する手術**
口唇や鼻の形態の微調整、顎の変形に対する手術（骨切り術）などを行います。
- **心理的なサポート:**
外見の変化に伴う心理的な問題への対応も重要です。

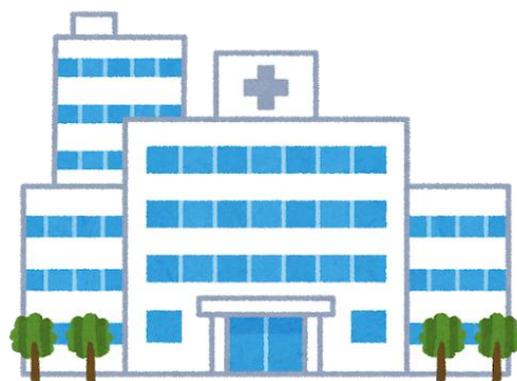
Point

『治療の目的』

- **形態的な改善**
口唇、鼻、顎などの形態を改善し、顔貌をより自然な状態に近づける。
- **機能的な改善**
呼吸、嚥下、発音などの機能を改善し、日常生活に支障がないようにする。
- **心理的なサポート**
外見の変化に伴う心理的な問題への対応を行い、QOLの向上を目指す。



←「口唇口蓋裂センター」
ホームページはこちらから



第53回市民公開講座開催のお知らせ

3月1日（土）、藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 市民公開講座をハイブリッド（対面+オンライン併用）形式にて開催いたします。申込期間は、1月15日（水）から2月25日（火）までです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 市民公開講座

令和7年3月1日（土）10:00～12:00

第一部

お口の元気が全身を救う
歯医者がささやく健康の秘訣

演者：藤が丘病院 病院歯科 講師 桑澤 実希



第二部

運動で心臓を守る・心臓病を治す

演者：藤が丘病院 循環器内科 准教授 磯 良崇



開催形式：ハイブリッド開催（対面+オンライン併用）

■対面【定員：100名】

会場：昭和大学藤が丘病院 C棟臨床講堂
（横浜市青葉区藤が丘1-31-21）

※病院棟ではございませんのでご注意ください

■オンライン（同時配信）

事前申込制 定員に達し次第、申込を締め切ります



電車でお越しの方
・東急田園都市線「藤が丘」駅下車 徒歩5分

車でお越しの方
・病院駐車場をご利用ください

<申込方法>

電話あるいは
右記のQRコードより



連絡先

045-971-1151（代表）
昭和大学藤が丘病院
管理課 公開講座担当



<お問合せ>

昭和大学藤が丘病院 管理課

045-971-1151

管理課 公開講座担当

月～金曜日（祝日除く） 8:30～17:00

がん患者・家族サロン開催のお知らせ

3月8日（土）、藤が丘病院にて「がん患者・家族サロン」を実施いたします。患者さん（入院中の方を除く）、ご家族はどなたでもご参加いただけます。みなさまのお申込みをお待ちしております。

開催日時：3月8日（土）10時00分～11時00分

場所：藤が丘病院 B棟 6階 AB会議室

テーマ：療養の場所を考える ー自宅療養・緩和ケア病棟・ホスピス系の施設ー

講師：がん相談支援センター 相談員

申込み方法：①WEB（藤が丘病院ホームページより）

②電話

申込み期間：順次開始～3月5日（水）まで

※申込みを開始した際は藤が丘病院HPにてお知らせいたします



「がん患者・家族
サロン」って
何だろう...



「がん患者・家族サロン」とは

がん患者さんやご家族同士が、同じ立場で自らの経緯や日頃のお話をするすることで、不安感や孤独感を和らげることが目的とした患者さん・ご家族の交流の場です。お話しするのはちょっと.....という方は、お話を聞くだけの参加もできます。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ

☎ 045-971-1151（代表）

昭和大学藤が丘病院

【申込みについて】

「管理課 がん患者・家族サロン担当」まで

【がんサロンの内容について】

「がん相談支援センター」まで

がん相談支援センターとは

がんになると、身体のこと、気持ちのこと、生活のことなど、様々なご心配ごとがでてきます。看護師やソーシャルワーカーがお話を伺って、少しでもご不安を軽減できるよう、お手伝いさせていただきます。必要に応じて専門のスタッフと連携させていただきますが、秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

相談内容の例

- ・がんの治療や副作用について知りたい
- ・治療の費用のことが心配
- ・がんと告知されたけれど、これからのことを考えると不安
- ・退院することになったけれど、どうしたら良いのかわからない
- ・セカンドオピニオンについて知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・家族や仕事のことで悩んでいる

相談方法

ご相談は、がん相談支援センターにお越しいただく場合と、お電話でお話をお伺いする方法があります。ご来院されてのご相談は、事前に予約を頂いております。

お問い合わせ

昭和大学藤が丘病院 がん相談支援センター TEL：045-974-6307（直通）

受付時間：月～金 8：30～17：00

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望は、病院内全体で共有しております。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点がございましたら、お聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。



ご意見・ご要望

車イスの同行で来院しました。大きいエレベーターに人が集中してしまい、車イスやストレッチャーが乗れない。車イスの方のために一般の方は小さいエレベーターをなるべく使うように、みなさんと共有できるよう周知をお願いします。

回答・改善内容等

現在エレベーター1基が作業中なこともあり利用状況に対しエレベーターの台数が不足しており、ご迷惑をおかけしております。いただいたご意見を元に、自立歩行が可能な方は可能な限り小さいエレベーターを使用していただき、ベッド・ストレッチャー・車椅子の方に大きいエレベーターをお譲りいただくよう各エレベーターホールに案内を掲示させていただきました。

何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

【藤が丘病院：管理課】

編集後記 - 2月22日は「猫の日」

2月22日は猫の日。「ニャーニャーニャー（222）」というなんとも可愛らしい語呂からつけられた記念日で、猫好きにとってはたまらない日です。我が家には元野良ねこで、今では家族の一員としてかけがえのない存在になっている猫がいます。皆さんは花びらのように耳がカットされた猫を見かけたことはありますか？耳をカットされている猫は「さくら猫」と呼ばれることもあり、この猫は手術も済みで、お世話をする人もいるという証として耳をカットしているのです。お住まいの地域で「野良猫がいて、かわいそうで何とかしてあげたい」と考えている人もいるでしょう。そんな時は、「さくら猫」のことを思い出していただきたいです。1匹でも多くの猫ちゃんが暖かい部屋で幸せに暮らせるように願っています。



広報・公開講座委員会 委員：志村 みゆき（看護部）